

1. 件名：東京電力福島第一原子力発電所の事故分析に関する面談
2. 日時：令和4年4月27日（水）15時00分～16時30分
3. 場所：原子力規制庁 6階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

長官官房 国際室

安井原子力規制特別国際交渉官

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

岩永企画調査官、佐藤室長補佐

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

燃料デブリ取り出しプログラム部 担当者1名

水化学放射担当 担当者1名

汚染水対策プログラム部 担当者2名

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、福島第一原子力発電所2号機原子炉建屋の滞留水水位低下に伴う施設の状況、同発電所2号機及び3号機の滞留水中の α 核種に係る分析の状況について、資料に基づき説明があった。
- 原子力規制庁から、東京電力の説明に関して検出されたる過物の状況や分析結果等について技術的な点を確認するとともに、今後東京電力が廃炉作業や各種調査等を進めていく際に考えられる課題等について意見交換を行った。
- 原子力規制庁から、本件については今後も分析等の進捗にあわせて適宜面談により状況を確認するとともに、必要に応じて東京電力福島第一原子力発電所における事故の分析に係る検討会において分析結果の報告を行うようコメントし、東京電力から了解した旨の回答があった。

6. 資料

- 建屋滞留水処理等の進捗状況について
- α 核種分析状況について追加報告

以上